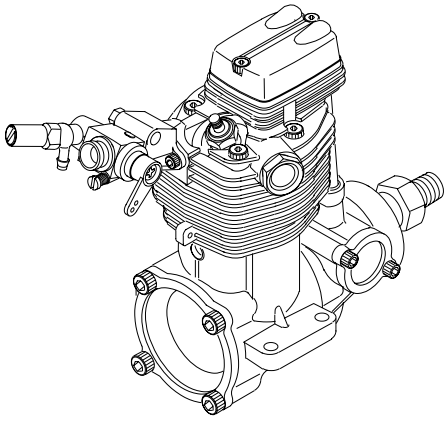
O.S.ENGINE FS-40S-C & FS-40S-CX

――― エンジン取扱説明書 ―――

このたびはOSエンジンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書と「保証書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- また必要なときに、参照できるように取扱説明書は大切に保管してください。
- 使用する模型や無線操縦装置等の説明書も、あわせてお読みください。



目　次

安全上のご注意 ---------- 2～5
エンジン各部の名称 ---------- 6
キャブレタースロットルの取り付け -------- 7
エンジンの取り付け ---------- 7～8
スーパーエアクリーナー102Sの取り扱い ----- 8～9
リコイルスタータの取り扱いの注意事項 ----- 9
グロープラグについて ---------- 10
始動前の用具類 ---------- 11
始動～ブレークイン（ならし運転） --- 12～14
エンジンが始動しない原因 ----------15
タペット調整について ---------- 15～17
取扱い上の注意 ---------- 17
使った後の手入れ ---------- 18
エンジンの点検 ---------- 18
オプションパーツ＆アクセサリー ------- 19
FS-40S-Cエンジン分解図 ---------- 20
FS-40S-Cエンジン部品表 ---------- 21
FS-40S-CXエンジン分解図 ---------- 22
FS-40S-CXエンジン部品表 ---------- 23
キャブレタースロットル分解図及び部品表 ---- 24
三面図 ---------- 25～26
アフターサービス ---------- 27～28

安全上のご注意

＊ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ この安全上の注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
常に安全を心がけエンジンの馬力を軽視しないこと。エンジンを安全に使用するのはあなた自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をして、楽しく使用してください。

■ この注意事項は誤った取扱いをした時に、生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分しています。

⚠ 警　告
この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注　意
この表示の欄は、人が中程度または軽傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

⚠ 警　告

・燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

・燃料は火気厳禁です。
火災の恐れがあります。

・換気の悪い場所（密閉したガレージや室内等）で運転しないでください。有害な一酸化炭素等を排出しますので必ず戸外で運転してください。
健康を害する恐れがあります。

・運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。
やけどの恐れがあります。

⚠注　意

・このエンジンは車用です。模型用以外に、使用しないでください。ケガや故障の原因となります。

・エンジンは模型に搭載してから始動してください。搭載前に始動するとケガの恐れがあります。

・必ず消音効果の高いサイレンサーを使用してください。耳に損傷を受ける恐れがあります。

・エンジンを使用するときは、子供や周囲の人々は安全のために、模型の後方6メートル以上離してください。エンジン始動後は模型には、近付けないでください。ケガをする恐れがあります。

・模型にエンジンを取り付けるときは、模型の説明書の指示に従って、確実に取り付けてください。エンジンがはずれてけがをする恐れがあります。

・プラグを通電しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近付けないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。

・エンジンを始動するときは、安全メガネや手袋を着用し、必ずスターターを使用してください。ケガをする恐れがあります。

・走行前にスロットル・リンケージをチェックしてください。はずれるとケガをする恐れがあります。

⚠注　意

・グロープラグクリップやそのコードが、回転部分にからまないようにしてください。
巻き込んでケガをする恐れがあります。

・エンジンを運転中、車体を持ち上げてタイヤを空転させないでください。
ケガや故障の原因となります。

・エンジンを停止させるときは、エンジン回転を最低速にし、燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。その際、回転部分には触れないでください。ケガをする恐れがあります。

・エンジン停止後、プラグヒートをしなくてもクランクすると、始動することがあります。ケガや故障の原因となります。

・リコイルスターターは分解しないでください。スプリングが飛び出してケガをする恐れがあります。

・スターターのノブを引く時は、模型をしっかり保持し40cm以上引かないでください。戻す時はスターターノブを持ったままゆっくり戻してください。ケガや破損の原因となります。

・スターターのロープが車体やエンジンに触れないようにし、真っ直ぐ引いてください。ロープが切れてケガをする恐れがあります。

製品について

このエンジンは低速からの独特のトルク感とサウンドが魅力の1/8クラスカー用OHV方式4サイクルエンジンです。エンジン性能を長く持続していただくためスーパーエアクリーナー102Sを標準装備。またエンジンスタートをより簡単にするためにOS純正リコイルスターターを装備したFS-40S-CXも用意しました。

付属品

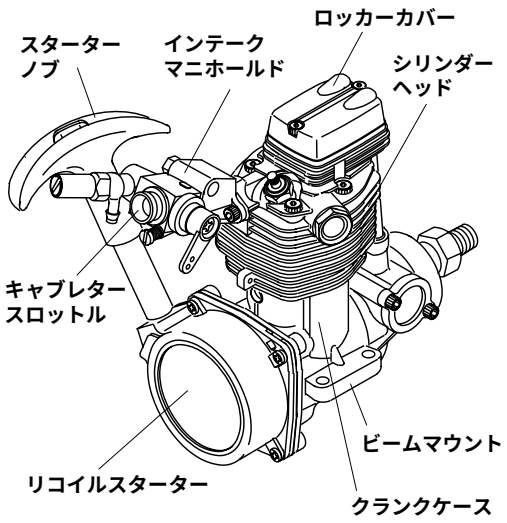
- **スーパーエアクリーナー102S**
- **グロープラグ Type F**
- **マウントスペーサー（40S-CXのみ)**

グロープラグの取り付け

ワッシャをプラグに入れて､取り付けてください。

又、新しいプラグに交換される時は、同時にワッシャも新品に交換してください。

エンジン各部の名称 FS-40S-CX



キャブレタースロットルの取り付け

このキャブレタースロットルは仮止めしてあります。

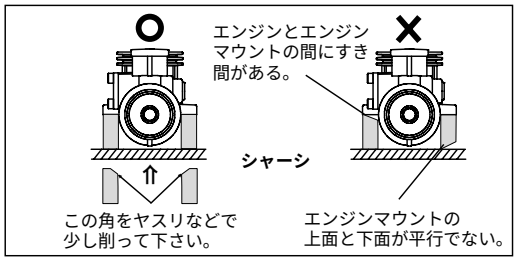
ご使用される前にいったんゆるめてください。
次にキャブレター"O" リングをインテークマニホールドの底に入れ込みます。"O" リングがずれていないか確かめて、適当な向きに変えた後、**キャブレターをマニホールドに押さえつけながら**リテイナーロックナットをゆっくりと締めていき、軽く止まったところから60～90°締め込んでください。それ以上締め込むとひずみや破損の原因となりますのでご注意ください。

なお燃料インレットの位置を変える場合、ニードルホルダーをゆっくりしめていき軽く止まったところから、45～60°締め込んでください。それ以上締め込むと燃料インレットがひずみ、燃料もれの原因となりますのでご注意ください。

エンジンの取り付け

車に搭載する場合､次のことに注意してください。

- エンジン本体の取付け面（ビームマウントの下面）は完全に平面になるように加工されています。キットに付属されているエンジンマウントが平面でないと、クランクケースやシリンダーライナー、ベアリングなどを変形させ、エンジンの性能を十分発揮できないばかりでなくエンジンを壊してしまうことがあります。
- エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、3.5mmの六角穴付キャップスクリューでエンジンに取り付け、その後シャーシに搭載してください。

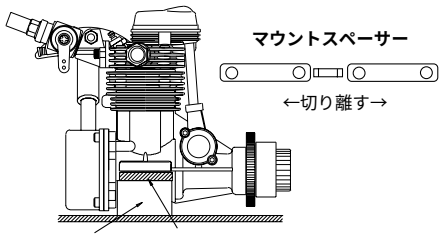


■ **FS-40S-CXの取り付け**

・エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、車体側のエンジンマウントとエンジン本体との間に付属のエンジンマウントスペーサーを入れ、M3.5x15のねじでエンジンを取り付けてください。

・標準の位置で搭載できない場合、シャーシのエンジンマウント取付け穴をうまく搭載できるように細い丸やすり等で少し広げてください。

・エンジンマウントスペーサーは、図のようなスペーサーが付属しています。ペンチ等で切り離してご使用ください。取り付けは下図のように正しく取り付けてください。なお上下の区別はありません。



スーパーエアクリーナー102Sの取り扱い

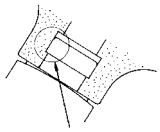
このエアクリーナーはCVシリーズ用として開発された湿式タイプのエアクリーナーです。102がダブルフィルターのエアクリーナーであったのに対し、102Sは砂や細かなほこりが比較的少ないオンロードでの走行に的を絞ったシングルフィルタータイプのエアクリーナーです。また、ワンタッチでキャブレターに取り付けられシールも確実にできる形状で取付部分からの砂やほこりの侵入を防ぎます。

キャブレターへの取り付け

キャブレターが砂やほこりで汚れている場合は、きれいに洗浄しシール剤や接着剤が付着している場合は、完全に取り除いてください。

・エアクリーナー本体の接続部の溝を図のようにキャブレターにしっかりはめ込んでください。不十分な場合、脱落する恐れがあります。

・ヒートシンクヘッドやニードルバルブに、接触しない位置にセットしてください。


エンジンクリーナーの溝にきっちりとはめ込んでください。

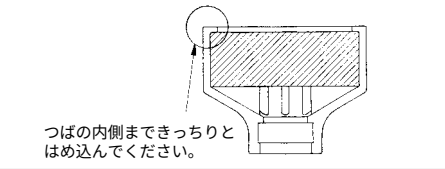
フィルターエレメントの装着及び交換

フィルターエレメントは保管の状態により、フィルターオイルが不均一になっていることがありますのでフィルターエレメントをポリエチレンの袋等に入れ手でよくもんでから使用してください。また、フィルターエレメントに浸み込んでいるオイルは紫外線により脱色することがありますが性能上、影響はありません。

使用状態によっても異なりますが、延べ走行時間が約1時間を目安に交換してください。交換の際、エアクリーナー本体に付着している砂やほこりがエンジン（キャブレター）内部に入らないように十分注意してください。

（注意）

フィルターエレメントはすでに特殊なフィルターオイルを浸み込ませています。オイルには粘着力があり、べたつきますから注意してください。


つばの内側まできっちりとはめ込んでください。

リコイルスターター取り扱いの注意事項

このエンジンに使用されているリコイルスターターは一体構造のため、リコイルスターター本体及びワンウエイクラッチ以外の部品販売は致しません。アフターケアーは「OSエンジンサービス係」までお申し付けください。

◆ リコイルスターター本体やロープに燃料がかからないようにしてください。劣化の原因になります。

◆ このエンジンは、リコイルスターターの構造上、逆転（シャフト側から見て時計まわり）はできません。フライホイル等を持って無理に逆にまわすと、リコイルスターターが破損します。絶対に逆方向にまわさないでください。

⚠ **絶対に分解しないでください。スプリングが飛び出してケガをする恐れがあります。**

⚠ **スターターのノブを引く時は、模型をしっかり保持し40cm以上引かないでください。戻す時はスターターノブを持ったままゆっくり戻してください。ケガや破損の原因となります。**

⚠ **スターターのロープが車体やエンジンに触れないようにし、真っ直ぐ引いてください。ロープが切れてケガをする恐れがあります。**

グロープラグについて

このエンジンにはOSグロープラグタイプFが付属されています。グロープラグのフィラメントが劣化したり、断線した場合は、同じタイプFをご使用ください。

グロープラグの役目

グローエンジン始動時は通電しフィラメントを赤熱させ点火させます。始動後は通電を止めても、前サイクルの燃焼熱によりプラグのフィラメントが赤熱され回転が持続します。高回転時にはフィラメントが高温となり早いタイミングで点火し、低回転時では遅いタイミングで点火を行います。

グロープラグを長持ちさせるコツ

グロープラグは消耗品と考えてください。使い方次第でプラグの寿命は大きく変わります。ここでプラグを長持ちさせるコツをいくつかご紹介しましょう。

●グロープラグを中速以上の回転域では、プラグヒートの電源を切ること。

●あまりニードルを絞りすぎない。

●エンジンにマッチしたプラグを使用する。

●なるべく低ニトロ燃料を使用する。

グロープラグの交換の目安

エンジンの性能を100%維持するには、いつもプラグをベストコンディションに保つ必要があります。
こういう場合は早めにプラグを新品に交換してください。

●フィラメントの表面が荒れて白色化している場合。

●異物が付着している場合。

●フィラメントが変形している場合。

●フィラメントの表面が汚れている場合。

●プラグの本体が錆びている場合。

●混合気が濃いときにエンジンが止まりやすくなった時。

●低速回転時に止まりやすくなった時。

●始動性が悪い時。

始動前の用具類

このエンジンを始動するために、次のような用具が別に必要です。エンジンを購入された販売店等に相談して購入してください。

燃　　料

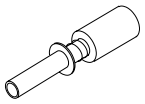
一般に市販されている良質の模型エンジン用燃料をご使用ください。目安としてニトロメタン20%前後で潤滑油が多く含まれる燃料をお勧めします。一般にエンジンの出力は、使用する燃料に含まれるニトロメタンの量が多くなるにつれて増加しますが、その分グロープラグの磨耗が早く、エンジンの寿命が短くなる点にご留意ください。

⚠ **燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。**

⚠ **燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。**

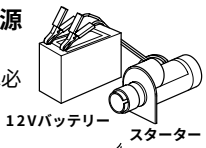
バッテリー　一体型ブースター

始動用バッテリーとブースターコードが一体になった物。



電動スターター及びその電源

エンジン始動時に使用します。
40S-CXには電動スターターは必要ありません。

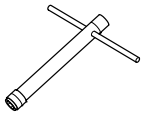


チョークポンプ

燃料缶から燃料タンクへ燃料を移す時に必要です。

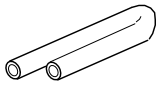
OSロングプラグレンチ
（プラグキャッチ機構付）

スプリングによりプラグがレンチに固定できるので、取付位置が深い場合の脱着に便利です。
（コードNo. 71521000）



シリコンチューブ

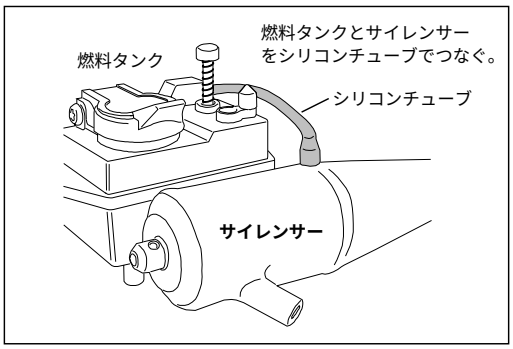
燃料の配管に使用するもので、内径2mm、外径5～5.5mm位のものが良いでしょう。



始　動～ブレークイン（ならし運転）

エンジンを始動する時には、車体を台等の上に置いてタイヤを浮かせた状態で行ってください。

車の場合、燃料タンクの位置がキャブレターと比較的離れている上に、走行中は路面の凸凹等でタンク内の燃料の液面が大きく変化します。燃料の液面差を少なくし、燃料を安定してキャブレターに供給するために、**必ずマフラープレッシャー（エンジンの排気圧を利用して、サイレンサーから燃料タンクに圧力をかける方法）を使用してください。**



エンジンの性能を最大に発揮させるため、適当なブレークインとキャブレター調整が必要です。（実際に車にエンジンを搭載し、走行させながら行ってください。）

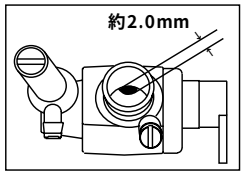
◆燃料タンクに、燃料を入れます。

◆プラグのフィラメントが赤熱するかを確認し、取り付けてください。

◆ニードルバルブを時計方向にゆっくりと止まるまで閉めます。この位置がニードルバルブの全閉位置で、これ以上は無理にまわさないでください。

◆この全閉位置から約1 3/4 回、反時計方向へニードルバル開けます。（ニードルバルブを時計方向にまわすことを閉める、その反対を開けると言います。）

◆スロットルバルブが約2.0mm位、開くようにローター調整ねじで調整します。

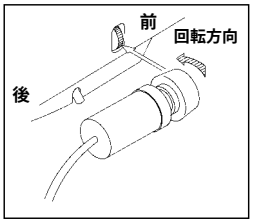


◆送信機、受信機の順にスイッチを入れます。

◆燃料タンクのチョークボタンを数回押して、燃料をキャブレターに送り込みます。

◆グロープラグをヒート（赤熱）する。（ブースターコードで始動用バッテリーからグロープラグに通電する。）

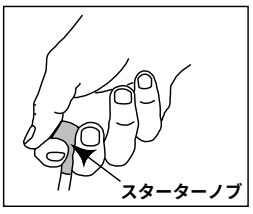
◆エンジンの回転方向（シャフト側から見て反時計方向）を間違わないようにスターターでエンジンを始動します。（始動する際には必ず、エアクリーナーを付けてください）



■40S-CXで始動する場合

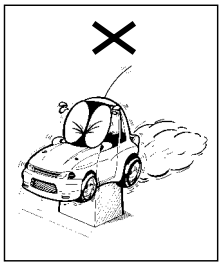
◆燃料タンクのチョークボタンを数回押して、燃料をキャブレターに送り込みます。（送り過ぎるとオーバーチョークになり、リコイルスターターが引けなくなりますので注意してください。）

◆リコイルスターターのスターターノブを数回、出来るだけまっすぐに、すばやく引いてエンジンを始動します。
（40cm以上は引かないでください）



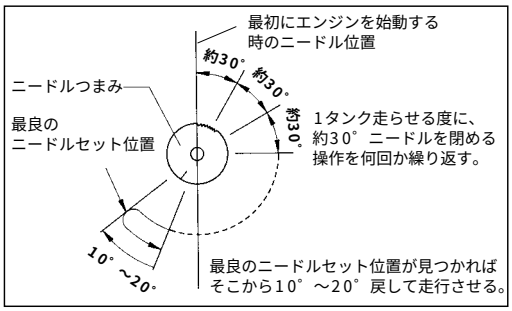
（注意）
2サイクルエンジンに比べコンプレッションが強いため、リコイルスターターのロープを引く際は、車体等をしっかり押さえて始動してください。また、危険防止のため手袋等の着用をお勧めします。

（注意）
エンジンを始動する時はタイヤを地面から持ち上げていますので、エンジンはいわゆる無負荷状態にあり、スロットルが中速以下でもかなりの高速で回転します。この状態で運転を続けると、コンロッドとクランクピンが焼き付きを起こすことがあります。スロットルを開けすぎないようにしてください。



◆始動したらプラグヒートをはずし、短い時間でアイドリングと中速を繰り返し、暖気運転を行います。

◆このままの状態で4～5タンク走行しその後、ブレークインとキャブレター調整をしながら、2～3タンクごとに約5°～15°ずつ、ニードルを閉める操作を繰り返してください。（繰り返すごとに閉める角度を少なくしてください。）



（注意）

燃料調整が濃すぎる状態での運転は、ならし運転にならないどころか、エンジンの破損にもつながります。エンジン内に熱が行き渡るよう、ある程度温度をあげた状態でのブレークインを行ってください。

◆スロットル全開での直線スピードを見ていき、最高のスピードが得られるところが、ニードルバルブの最良位置ですが、その位置から10°～20°開いた位置で走行してください。また車が動き出さないアイドリング回転に、ローター調整ねじで調整してください。スロットルバルブの開度は出荷状態より少し閉じたところです。

◆ニードルバルブを最良位置からさらに閉めると、エンジンの排気ガスがほとんど見えなかったり、直線でのスピードが落ちたり、立ち上がりの反応が悪くなったりします。このような場合は、そのまま走行せず車を手元に戻し、ニードルバルブを開けてください。

（注意）

空ぶかしでの調整は、実際に走行させる時のキャブレター調整とは大きな違いがあり無意味です。またエンジンの破損にもつながりますので、空ぶかしはしないでください。

燃料の種類を変えたりエンジンを修理したり、サイレンサーやギヤ比・クラッチタイミングを変えた場合は、再度キャブレター調整を行ってください。

■エンジンを停止する場合

◆エンジンを停止する時は、エンジン回転を最低速にして燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。

（注意）

エンジン停止の時は回転部分やエンジン本体、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温になっています。手などで触れないでください。

エンジンが始動しない原因

●燃料の不足　●バッテリーの確認

●プラグの点検（断線の場合は、交換してください）

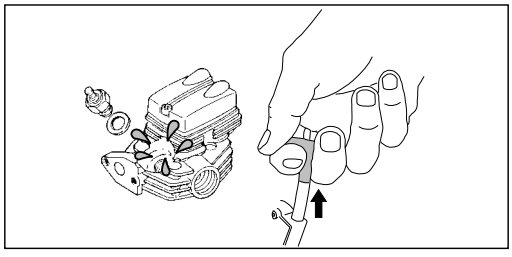
●オーバーチョーク（エンジン内に燃料を送りすぎです。プラグもしめり、スターターノブが重くて引けない状態）

・プラグレンチでプラグをはずします。

・スターターノブを引くか電動スターターで余分な燃料を出す。

・この時、燃料が飛び出すので目に入らない様ウエスなどで押さえてください。

・燃料が出たらプラグを取り付ける。



タペット調整について

OS　4サイクルエンジンは、出荷前に適切なタペットのすきまに調整してありますので、調整の必要はありません。エンジンの部品を交換したり、エンジンの調子が悪い場合のみ、次の要領で点検してください。点検にはタペット調整キット（オプション）が必要です。

タペット調整キット（オプション）の内容

・シックネスゲージ（0.04mm 0.1mm）
・1.5mm六角レンチ
・5.0mmスパナ

点検や調整は、必ずエンジンが完全に冷えている状態で行ってください

◆ロッカーカバーを、六角レンチで取り外します。
フライホイルを手でゆっくり運転方向に回すと圧縮が感じられます。圧縮を感じ始めてから、フライホイルを約1/4回転（90°）運転方向に回した位置にします。この位置は、圧縮行程のピストン上死点付近になります。（ロッカーアームが両方とも動かない位置）

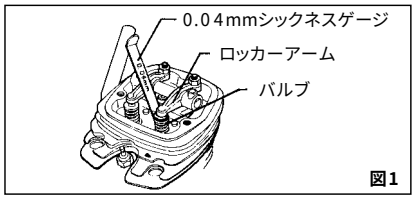


図1

◆バルブとロッカーアームの間にシックネスゲージを入れてすき間を調べます。0.04mmのゲージが入り、0.14mmのゲージが入らないのが普通です。（図1）また、しばらく使用したエンジンで0.1mmのゲージが入ってもエンジンの調子が特に悪くなければ、合えて調整の必要はないでしょう。特にすきまが異常に大きい場合は次の順序で調整してください。

［長時間使用して異常を感じなければ0.14mm（2枚重ねてチェック）位まではそのままでよい。］

0.14mm	すきま過大
	適当なバルブクリアランス（タペットすき間）
0.05mm	
0mm	すきま過少

◆5mmスパナを使って調整ねじのロックナットを調整ねじの動く程度（1/4～1/2回転）にゆるめます。（図2）

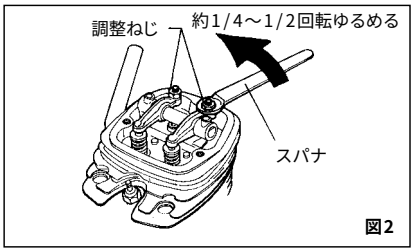


図2

◆調整ねじの頭に合った工具1.5mm六角レンチで、バルブとのすきまが大きくなるよう、反時計方向へ約1/2回転まわします。（図3）

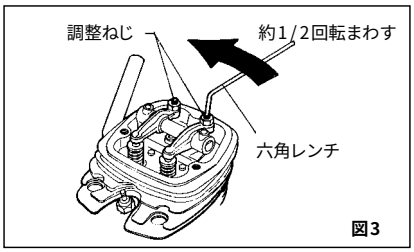


図3

◆0.1mmのゲージを、バルブとロッカーアームの間に入れ、調整ねじをゆっくり図4のように指先の力だけで止まるところまでねじ込みます。

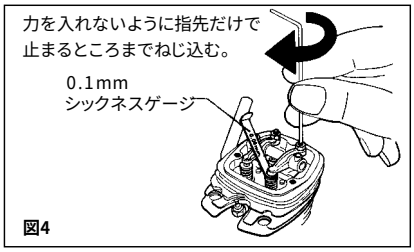


図4

◆六角レンチで、スパナをまわしても調整ねじが動かないよう固定しながら、ロックナットを締め付けて、調整ねじを固定します。（図5）

◆ゲージを抜き取り、再度すきまを（図1）の要領で点検し、OKならロッカーカバーを取り付けます。

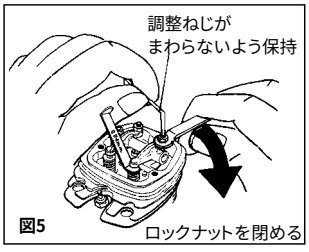


図5

取扱い上の注意

◆使用される燃料中にごみ等が含まれていますと、キャブレタートラブルの原因になります。キャブレターと燃料タンクの間に高性能なフィルターを使用し、また燃料タンクにごみが入らないように注意してください。ゴミによってキャブレターがつまり燃料がうまく流れなくなると、エンジンがオーバーヒートしたり時には焼き付きによって、エンジンを破損することがあります。燃料タンクへはゴミが入らない様に注意し、定期的にフィルターの掃除を行ってください。

◆このエンジンは2サイクルエンジンと比べ構造上、金属同士が接触する部分が多いため、ロッカーアームやカムシャフト部へのグリスアップもしくは、機械油等による注油をお勧めします。またシリンダーヘッド及びエキゾーストマニホールド付近はかなりの高温になりますので、走行後の取り扱いには十分ご注意ください。

⚠ **運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。**

使った後の手入れ

◆一日の走行が終わったら、燃料タンクに残った燃料は必ず抜き取ってください。

◆その後もう一度エンジンを始動し、キャブレターや燃料パイプの中に残っている燃料がなくなるまで、アイドリングで運転してください。エンジンが止まったらエンジンが暖かい内にスターターで2～3秒まわし溜まった廃油を排出してください。

◆さらに、防錆油をエンジン内部に少量注油し、エンジン内部にゆきわたるようスターターで4～5秒回してください。

（注意）防錆油はキャブレター内の“ O ”リングを傷める場合がありますので、キャブレターには防錆を注油しないでください。

◆これによりかなりの防錆効果が得られ、また余分なオイル分が残らず次回のエンジン始動がやりやすくなります。

エンジンの点検

エンジンは長時間、使用している間に磨耗などにより正常な性能を発揮しなくなることがあります。もし、次のような症状が現れたら部品交換をされたら良いでしょう。

◆アイドリングが不安定になったり、アイドリングでエンジンがよく止まる。

◆エンジンの音が変わり、すぐオーバーヒートする。

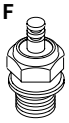
◆パワーが極端になくなる。

上記のような症状の場合、多くはボールベアリング、コンロッド、クランクケースの異常が考えられます、注意深く点検し、必要に応じて交換してください。

O.S. SPEED
RACING ENGINE PARTS

オプション パーツ＆アクセサリー

■グロープラグ　Type F
（71615009）￥600



■ダストキャップセット

ø4キャブレターニップル用　5個入
（73300305）￥300

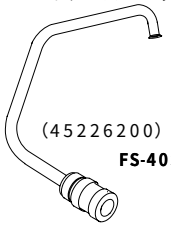
ø10キャブレター用　3個入
（73301012）￥300

■スーパーエアクリーナー102S
（72403202）￥800

102Sエアクリーナー本体
（72403212）￥580

101.102フィルターエレメント
（72403120）￥450
6個入

■ FS-40S-C
ハイパーエキゾーストセット

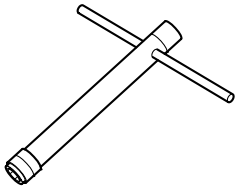


（45226200）￥2,500
FS-40S-C/CX用

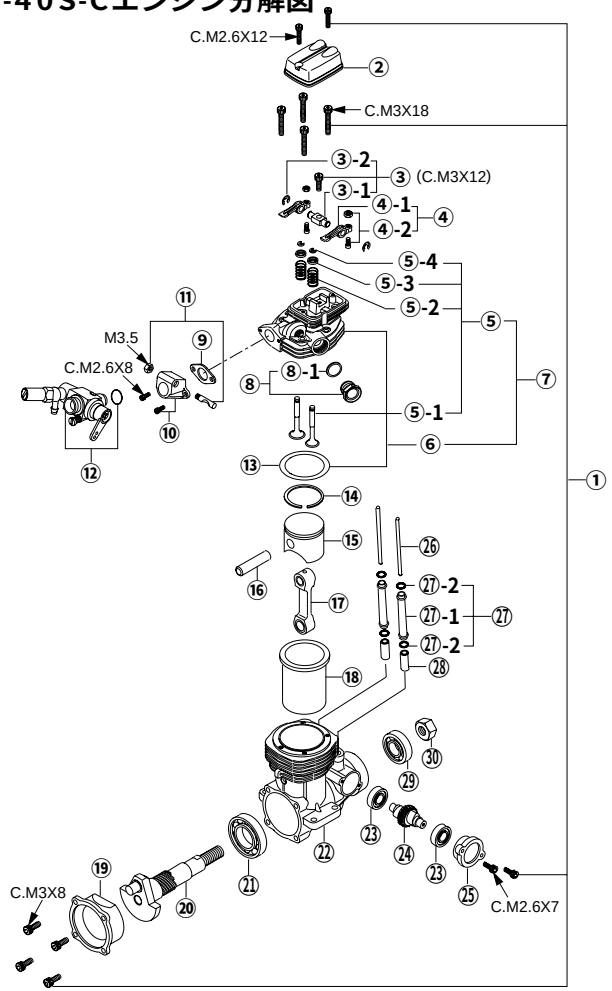
■スーパージョイントチューブ15
（72103310）￥500

■タペット調整キット
（72200060）￥550

■ロング プラグレンチ
（71521000）￥550



FS-40S-Cエンジン分解図

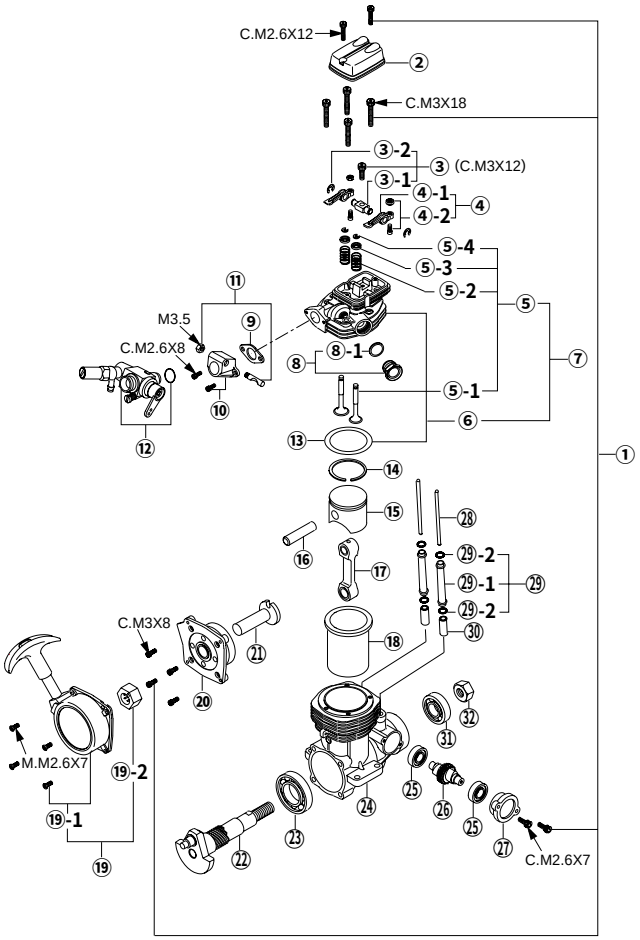


＊ねじの種類　C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ　F…皿ねじ
N…なべねじ　S…セットスクリュー

No.	品名コード	品　　名	価格（円）
①	4 5213 010	スクリュー・セット	280
②	4 5204 250	ロッカー・カバー	350
③	4 5261 400	ロッカー・サポート　一式	440
③-1	4 5261 410	ロッカー・サポート	420
③-2	4 5761 600	ロッカー・アーム・リテイナー（２個）	100
④	4 5261 010	ロッカー・アーム　一式（１組）	1,100
④-1	4 5261 110	ロッカー・アーム（１個）	1,000
④-2	4 5761 200	タペット調整ねじ	220
⑤	4 5260 050	バルブ　一式（１組）	1,100
⑤-1	4 4261 100	バルブ（１個）	700
⑤-2	4 5260 250	バルブ・スプリング（１個）	130
⑤-3	4 5260 350	バルブ・スプリング・シート（１個）	250
⑤-4	4 6160 400	バルブ・スプリング・リテイナー（２個）	110
⑥	4 5204 150	シリンダー・ヘッド（ガスケット付）	3,100
⑦	4 5204 050	シリンダー・ヘッド（ガスケット、バルブ 一式付）	5,200
⑧	4 5169 200	エキゾースト・パイプ・ロックナット	170
⑧-1	4 5169 210	エキゾースト・ガスケット（2枚）	100
⑨	2 1381 950	インシュレーター	200
⑩	4 5269 400	インテーク・マニホールド　一式	1,750
⑪	2 1481 700	キャブレター・リテイナー	360
⑫	4 5285 000	キャブレター・スロットル(40P)	3,400
⑬	4 5214 100	シリンダー・ヘッド・ガスケット	100
⑭	2 4203 410	ピストン・リング	1,100
⑮	4 5203 210	ピストン	1,100
⑯	2 3356 000	ピストン・ピン	330
⑰	4 5205 000	コンロッド	800
⑱	4 5203 100	シリンダー・ライナー	1,100
⑲	4 5207 050	カバー・プレート	350
⑳	4 5202 050	クランクシャフト	2,600
㉑	2 2630 002	クランクシャフト・ベアリング（後）	750
㉒	4 5201 050	クランクケース	3,100
㉓	4 5231 100	カムシャフト・ベアリング	600
㉔	4 5262 050	カムシャフト	2,300
㉕	4 5201 150	カム・カバー	350
㉖	4 5266 010	プッシュ・ロッド（２本セット）	220
㉗	4 5266 102	プッシュ・ロッド・カバー　一式（２本セット）	650
㉗-1	4 5266 112	プッシュ・ロッド・カバー（１本）	210
㉗-2	2 4881 824	プッシュ・ロッド・カバー Ｏ”リング（２個）	140
㉘	4 5264 000	カム・フォロア（２本セット）	440
㉙	4 5231 000	クランクシャフト・ベアリング（前）	700
㉚	2 3210 007	プロペラ・ナット	100
	7 1615 009	グロープラグ　タイプＦ	600
	7 2403 202	スーパー・エア・クリーナー102S（エレメント3個付）	800
	7 2403 212	102S エア・クリーナー本体	580
	7 2403 120	101,102スポンジ・フィルター・エレメント（6個セット、オイル含浸済）	450

製品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。
＊表示価格には消費税は含まれておりません。

FS-40S-CXエンジン分解図

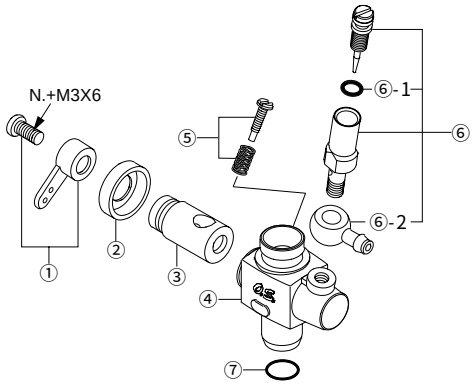


＊ねじの種類　C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ　F…皿ねじ
N…なべねじ　S…セットスクリュー

No.	品名コード	品　　名	価格（円）
①	4 5213 010	スクリュー・セット	280
②	4 5204 250	ロッカー・カバー	350
③	4 5261 400	ロッカー・サポート　一式	440
③-1	4 5261 410	ロッカー・サポート	420
③-2	4 5761 600	ロッカー・アーム・リテイナー（２個）	100
④	4 5261 010	ロッカー・アーム　一式（１組）	1,100
④-1	4 5261 110	ロッカー・アーム（１個）	1,000
④-2	4 5761 200	タペット調整ねじ	220
⑤	4 5260 050	バルブ　一式（１組）	1,100
⑤-1	4 4261 100	バルブ（１個）	700
⑤-2	4 5260 250	バルブ・スプリング（１個）	130
⑤-3	4 5260 350	バルブ・スプリング・シート（１個）	250
⑤-4	4 6160 400	バルブ・スプリング・リテイナー（２個）	110
⑥	4 5204 150	シリンダー・ヘッド（ガスケット付）	3,100
⑦	4 5204 050	シリンダー・ヘッド（ガスケット、バルブ一式付）	5,200
⑧	4 5169 200	エキゾースト・パイプ・ロックナット	170
⑧-1	4 5169 210	エキゾースト・ガスケット（2枚）	100
⑨	2 1381 950	インシュレーター	200
⑩	4 5269 400	インテーク・マニホールド　一式	1,750
⑪	2 1481 700	キャブレター・リテイナー	360
⑫	4 5285 000	キャブレター・スロットル(40P)	3,400
⑬	4 5214 100	シリンダー・ヘッド・ガスケット	100
⑭	2 4203 410	ピストン・リング	1,100
⑮	4 5203 210	ピストン	1,100
⑯	2 3356 000	ピストン・ピン	330
⑰	4 5205 000	コンロッド	800
⑱	4 5203 100	シリンダー・ライナー	1,100
⑲	7 3004 000	リコイル・スターター 一式（No.6）	2,800
⑲-1	7 3004 100	No.6リコイル・スターター本体	1,700
⑲-2	7 3003 200	No.5ワンウェイクラッチ	1,500
⑳	4 5221 100	リア・アダプター	2,400
㉑	4 5221 200	スターティングシャフト	1,200
㉒	4 5202 060	クランクシャフト	2,600
㉓	2 2630 002	クランクシャフト・ベアリング（後）	750
㉔	4 5201 050	クランクケース	3,100
㉕	4 5231 100	カムシャフト・ベアリング	600
㉖	4 5262 050	カムシャフト	2,300
㉗	4 5201 150	カム・カバー	350
㉘	4 5266 010	プッシュ・ロッド（２本セット）	220
㉙	4 5266 102	プッシュ・ロッド・カバー　一式（２本セット）	650
㉙-1	4 5266 112	プッシュ・ロッド・カバー（１本）	210
㉙-2	2 4881 824	プッシュ・ロッド・カバー　O ”リング（２個）	140
㉚	4 5264 000	カム・フォロア（２本セット）	440
㉛	4 5231 000	クランクシャフト・ベアリング（前）	700
㉜	2 3210 007	プロペラ・ナット	100
	7 1615 009	グロープラグ　タイプＦ	600
	7 2404 300	マウントスペーサー	350
	7 2403 202	スーパー・エア・クリーナー102S（エレメント3個付）	800
	7 2403 212	102S エア・クリーナー本体	580
	7 2403 120	101,102スポンジ・フィルター・エレメント（6個セット、オイル含浸済）	450

製品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。
＊表示価格には消費税は含まれておりません。

キャブレタースロットル(40P)分解図及び部品表



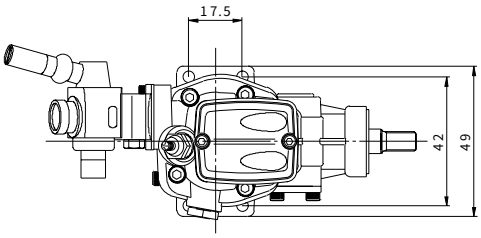
No.	品名コード	品　　名	価格（円）
①	2 2081 408	スロットル・アーム　一式	100
②	2 1283 210	ダストカバー	330
③	4 5285 200	キャブレター・ローター	1,000
④	4 5285 100	キャブレター本体	1,800
⑤	2 2681 310	ローター調整ねじ	180
⑥	2 1481 900	ニードルバルブ　一式	1,000
⑥-1	2 7881 820	"O" リング（2個）	140
⑥-2	2 1481 950	燃料インレット	150
⑦	2 2615 000	キャブレター・ガスケット	100

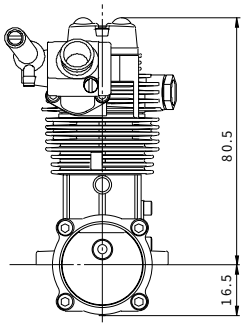
改良のため予告なく仕様・価格等変更することがあります。
表示価格には消費税は含まれておりません。

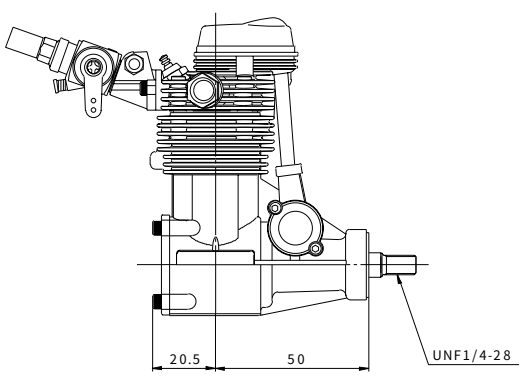
＊ねじの種類
C…キャップスクリュー　M…丸平ねじ
F…皿ねじ　N…なべねじ　S…セットスクリュー

FS-40S-C 三　面　図 (単位mm)

要　目	
■行程体積	6.49 cc
■ボ　ア	21.2 mm
■ストローク	18.4 mm
■実用回転数	3,000～21,000 r.p.m.
■出　力	0.9 ps / 17,500 r.p.m.
■重　量	323.5g

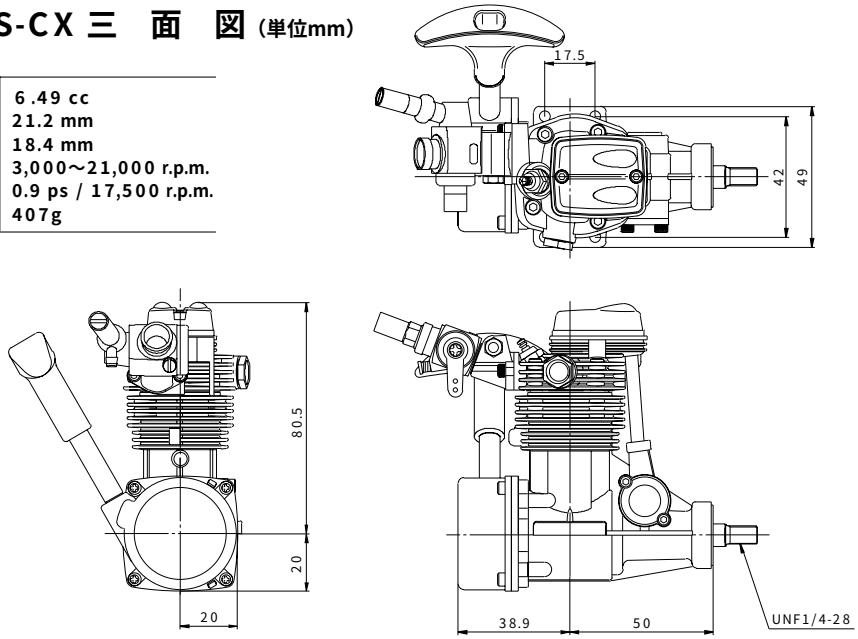






FS-40S-CX 三　面　図 (単位mm)

要　目	
■行程体積	6.49 cc
■ボ　　ア	21.2 mm
■ストローク	18.4 mm
■実用回転数	3,000〜21,000 r.p.m.
■出　　力	0.9 ps / 17,500 r.p.m.
■重　　量	407g



アフターサービス

◆ エンジンの修理について

・よく洗浄してエンジン本体のみを弊社「ＯＳエンジンサービス係」までお送りください。(エンジン以外のものが付いていたり汚れがひどいと分解や洗浄に時間がかかり、修理代が高くなります）この時、故障時の状態及び修理希望事項を必ずお書き添えください。

・原則として弊社到着後l0日以内で修理完了致します。なお修理品は修理の内容及び注意事項を書いた修理カードを添えてご返送いたします。

・修理品のお支払いについては、コレクトサービス（代金着払いシステム）により発送させていただきますので、お届けした際に修理代金および送料をお支払いください。

◆ 交換部品について

・この製品を購入された販売店でお買い求めください。もし販売店にストックがなく部品が入手できない場合は、弊社から直接購入することができます。この場合、品名コード、品名、数量を明記の上、部品代金（消費税分を加算して）＋送料を現金書留か、普通為替で「ＯＳエンジンサービス係」へお送りください。

・送料は部品の大きさ、重さ、個数により変わります。下記の郵便料金をひとつの目安にして、多少加算した額を送料として同封してください。商品発送時に精算して、差額はお返しします。（封筒や梱包材料などの重さも加わりますのでご注意ください。）

重　量	50gまで	75gまで	100gまで	150gまで	200gまで
料　金	120円	140円	160円	200円	240円

重　量	250gまで	500gまで	750gまで	1Kgまで	2Kgまで
料　金	270円	390円	580円	700円	950円

送料は平成12年12月現在で法規改正などにより変更になる場合があります。

・現金書留および普通為替以外でのお申し込みは、コレクトサービス（代金着払いシステム）とさせていただきます。

・エンジンを分解したり、組み立てたりすることに、あまり経験のない方には部品の交換はお勧めできません。この製品を購入された販売店にご相談ください。

アフターサービスに関するお問い合わせは、下記の「OSエンジンサービス係」までお願い致します。

OSエンジンサービス係

電 話（06）6702-0230（直通）
FAX（06）6704-2722

＊直通電話が混み合っている場合には、しばらくたってからおかけ直しいただくか、右記の電話番号（代表）あてにご連絡ください。

情報提供サービスのご案内

インターネットを利用してタイムリーな製品情報を提供しています。

ホームページ

・新製品情報 ・イベント告知
・トラブルシューティング ・カタログ請求

URL : http://www.os-engines.co.jp

・製品に関するご質問等は

E-Mail : info@os-engines.co.jp

● 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

● 本書の内容については、製品改良のため予告なしに変更する場合があります。

● 本製品の仕様、デザインおよび説明書の内容については、改良などにより予告なく変更する場合があります。

● 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

小 川 精 機 株 式 会 社
〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号
電話 （06）6702－0225番(代)
FAX （06）6704－2722番

小 川 精 機 株 式 会 社
〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号
電話 （06）6702－0225番(代)
FAX （06）6704－2722番

URL : http://www.os-engines.co.jp

Ⓒ Copyright 2000 by O.S.Engines Mfg. Co., Ltd. All rights reserved. Printed in Japan.

100102